



2022年9月7日

皆様

IFAGG 会長に選出された者として、総会での公約を果たし、AGG のさらなる発展に携わることが私の務めであると感じています。2022年9月5日から、私は正式に復帰します。私はこれまで十分にボランティアとして働いてきましたが、今、選ばれたポジションで私の責務を果たすことが必要とされています。私は IFAGG 規定に従って行動し、すべての決定に対して責任を持ちます。

私は、副会長のエレナ・ドゥコバとアネリー・リガ、そして IFAGG 理事会全体に対し、私たちの国際連盟がまとめた計画の実施に向けた建設的な働きに感謝申し上げます。この世界的困難な時期に、私はスポーツの発展という共通の意義に忠実であり続けたいと思います。

私は絶対的な平和主義者であり、いかなる軍事行動や暴力を非難します。そして、スポーツを政治に巻き込むことも容認できないと考えていることをお伝えしたいと思います。また、スポーツが政治に関与することは許されないと考えています。私たちの規定に従って、私はこの美しいスポーツにおいて、国籍、肌の色、宗教、政治的信条に基づく人種差別、差別、アスリートの分断を許したくありません。特に子どもたちには、大人の決断に対して責任はないと確信しています。AGG チームの主役は子どもたちであり、このことを忘れないでください。私は、誰が彼らの行動に対して罰せられるべきか、誰が本当に悪いのか、誰が本当に状況を変えることができるのか、そして子どもたちとアスリートは何の関係もないことを理解するのに十分な理由があることを心から願っています。私、そして IFAGG 理事会全体は、IFAGG の代表として、国や出身地、居住地に関係なく、AGG の発展のために問題を解決しています。

また、私は政治家ではありません。国の指導者の意思決定に影響を与えることもできません。私の専門はスポーツで、スポーツや教育の分野での知識と経験を生かし、世界をより良くするために、自分の仕事に取り組みたいと考えています。

バッハ IOC 会長のロシアとベラルーシの選手の安全問題についての助言を受けて、ロシアとベラルーシのチームが 2022 年の世界選手権と 2023 年のヨーロッパ選手権には参加しないという難しい決定を私は理事会に提案しました。選手にとっての人生はスポーツであり、試合はスポーツの基本であることから、この決断は致命的です。しかしながら、その決断をせざるを得なかったのです。さまざまな意見があることは理解していますし、また私もそれを耳にしています。理事会と私が下す決断は、多くの要素を考慮した上で行わなければなりません。もちろん、スポーツマンシップを守り、さらに向上していきたいと考えています。この状況無くしては、多くのスポーツ団体との共同計画を実施し、オリンピックスポーツに向かうことはできないのです！

今日、IFAGG はオリンピック種目以外のスポーツの発展を目的とした、非営利かつ非政治的な国際スポーツ組織です。IFAGG は、いかなる国際組織のメンバーでもなく、従って、遵守すべき協定もありません。今後、この状況が変えられることを願っています。

International Federation of Aesthetic Group Gymnastics, IFAGG

office@ifagg.com

お互いを尊重し、寛容に受け入れていただきますようお願いいたします。IFAGGには、様々な国や大陸の代表者がいます。また、私たちはまだクラブレベルでの活動を行っている段階であり、メンバーの多くは各国のスポーツ委員会やスポーツ省に登録されていないため、国の代表として発言する可能性はない点にご留意ください。IFAGGの選手全員がナショナルチームの代表になっているわけではありません。そのため、理事会やIFAGG会長である私個人にとって、多くの決断は困難なものです。しかし、私たちは中立の立場をとり、私たちの公的組織の役割に沿って働き、スポーツの発展のために努めていきます。選挙でお約束したように、新しいウェブサイトを開設し、ドキュメントセクションで理事会のすべての決定を確認することができます。これは、19年間のIFAGGの活動の中で初めてのことです。また、IFAGGの公式メールでは、皆様からのご提案やご質問を受け付けております。

敬具



IFAGG 会長
リリア モロゾフ